

---

---

クリエイティブ飛鳥  
未来への風プロジェクト  
Creative asuka. "KAZE" project to the future

---

---

「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」2019年度 実施報告書

発行日：2020年3月

編集・制作：株式会社 企画・創

写真撮影：三國 賢一

発行：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

〒634-0141 奈良県高市郡明日香村川原91-1(明日香村教育委員会内)

TEL：0744-54-3636 FAX：0744-54-4647

2019年度 実施報告書

Creative飛鳥・未来への風プロジェクト

## 第6回「明日香の匠展」と「飛鳥・音の風景」に寄せて

万葉に由来する令和の新春に、第6回「明日香の匠展」及び「飛鳥・音の風景」が開催され、芸術文化を愛する多くの飛鳥びとと感動を共有することができましたことは、ご同慶の至りと存じます。

「明日香の匠展」は、うまし風土の明日香を深く耕し、新たな種子を播きながら未来に向かって古都飛鳥発信の芸術文化を、育てようとする試みから始まりました。

これを達成するために、明日香にゆかりのある芸術家を結集し、県立万葉文化館の精逸な会場で、関係者のご協力と思いをいつにして鋭意に展開してきました。

今回は、全国公募から選抜された「飛鳥アートヴェレッジ」参加の若い芸術家3人も、明日香の地霊の中で現代美を創作し、意欲的な造形作品を特別出品して頂きました。

それは、「明日香の匠展」が村外への発信だけでなく村民の感性をゆきぶり、豊かな感受性と生きる充実感を共有して、新しく飛鳥文化の構築に貢献しているものと自負しています。

また、「飛鳥・音の風景」は、生演奏の迫力と様々な楽器や声楽の魅力あるハーモニーを、明日香の風景のなかで身近に楽しむために開催してきましたが、今回は木村俊明氏指揮による近畿フィルハーモニー管弦楽団の演奏で、東大阪第九シンフォニー合唱団共演による名曲「第九」を演奏していただきました。村の中央公民館のホールでの演奏は、熱い感動の渦と至福の時間空間のなかで十分に堪能することができました。

どうかこれからも「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」の魅力ある企画と実行により、明日香村発信による素晴らしい創造性の開発と現代芸術への挑戦をして参りたいと考えていますので、今後もよろしくご支援のほどをお願い申し上げます。

最後になりましたが、県立万葉文化館の全面的なご協力と美術展示や音楽企画の関係諸氏によるご尽力を心から感謝いたします。

令和2年 花見月

「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会  
実行委員長 脇田 宗孝

### ■コンセプト

明日香村の“プリミティブな魅力”。それは、日本創成の地として、あらゆるモノやコトを産み出す創造性あふれるエネルギーが、今もこの地に眠っていることである。営々と受け継がれてきた“大らかな風土”と“しなやかな精神性”は、日本の明るい未来を築いてゆく上で大いに有効性を発揮するものと期待される。

そこで、明日香村の地場から発せられるこの潜在的なエネルギーを表す言葉「クリエイティブ(創造性あふれる)」をキーワードに、

- (1)日本における明日香村の果たすべき(他の地域にはできない)役割を明確にし、
  - (2)明日香村から全国さらには世界へと情報発信機能を高め、
  - (3)次世代の日本を担う有能な人材の育成に寄与しながら、
  - (4)未来志向型の村づくりを実現するために、
- 長期的視野に立って「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」を推進するものとする。

### ■事業目標

「明日香村歴史文化基本構想」に謳われる「明日香村の歴史文化が有するポテンシャル」に着目しながら、村にゆかりのある作家および音楽家に光を当てた事業を実施し、クリエイティブ村としての機運の醸成を目指す。

### ■実施体制

主催：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

後援：明日香村、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所、公益財団法人古都飛鳥保存財団、一般社団法人飛鳥観光協会

### ■実行委員会について

・構成メンバー

実行委員長	脇田 宗孝(陶芸家・奈良教育大学名誉教授)
副実行委員長	松岡 剛宏(バリトン歌手・明日香村社会教育委員)
実行委員	鳥頭尾 精(日本画家・京都教育大学名誉教授)
実行委員	境山 正甫(明日香村文化協会会長)
実行委員	西川 逸人(奈良県立万葉文化館副館長)
実行委員	田中 祐二(明日香村教育委員会教育長)

・事務局/明日香村教育委員会内(〒634-0141奈良県高市郡明日香村川原91-1)

## 第6回「飛鳥・音の風景」

明日香村中央公民館 1階ホール  
(奈良県高市郡明日香村川原91-1)

2020.1.19 [SUN] 14:00~【開場13:00~】

明日香村在住の音楽家がプロデュースする音楽事業を通して、村民に楽器の素晴らしさと生演奏の迫力に触れてもらう。

プロデュース：松岡 剛宏(バリトン歌手)

入場料：無料

入場者数：260名



《指揮》木村 俊明 TOSHIAKI KIMURA

大阪教育大学特設音楽課程声楽科卒業。卒業と同時に大阪フィルハーモニー交響楽団コントラバス奏者のオーディションに合格。同オーケストラ副首席奏者として活躍。同団退団後、音楽教育に奉職(元大阪信愛女学院短期大学教授)する一方、ソロや室内楽演奏、合唱指導者のほか、数多くのオーケストラ指揮活動を開始する。ベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイヤ」、プッチーニ「蝶々夫人<全幕>」などを指揮し、豊かで明快な指揮が高く評価されている。

## 《管弦楽》近畿フィルハーモニー管弦楽団

KINKI PHILHARMONY ORCHESTRA

1985年に近畿大学文化会交響楽団のOB有志により設立。1999年に近畿フィルハーモニー管弦楽団に改称し、今年で創団35周年を迎える。クラシックの名曲中心の定期演奏会、ポピュラーな曲も交えたファミリーコンサートを毎年開催するほか、東大阪第九シンフォニー合唱団と「第九」の演奏に取り組み続けるなど精力的に活動している。





《合唱団》  
東大阪第九シンフォニー合唱団

HIGASHIOSAKA NO.9 SYMPHONY CHOIR

1980年4月大阪府民劇場「第九」公演に向け市民合唱団が編成される。12月公演後、解散を惜しむ有志が本団前身の東大阪第九合唱団を結成し、17回定期演奏会後、発展的に解散。しかし、「第九」を続けたいと有志が集い、1999年4月、木村俊明氏を指揮者に迎え東大阪第九シンフォニー合唱団を結成。同年12月第1回定期演奏会を東大阪市民会館にて開催。以来、「第九」のみならず様々なジャンルの合唱曲を採り上げ、毎年演奏会を行っている。



プログラム

- ◎ ベートーヴェン作曲 交響曲第9番 合唱付き
- ◎ 日本の唱歌メドレー
  - ♪ 荒城の月
  - ♪ 花
  - ♪ さくらさくら
  - ♪ おぼろ月夜
  - ♪ 夏の思い出
  - ♪ かあさんの歌
  - ♪ ふるさと

ソプラノ／木澤 佐江子

SAEKO KIZAWA

相愛大学音楽学部声楽学科卒業、同大学研究科修了。第24回イタリア声楽コンクール入選、第6回和歌山音楽コンクール一般の部第2位、第7回日本の歌コンクール審査委員長賞を受賞。オペラでは「フィガロの結婚」「魔笛」「カルメン」「ノルマ」他多数出演し、「マノン・レスコー」ではタイトルロールを演じ好評を得る。「第九」「メサイア」「マタイ受難曲」などのソリストとしても定評がある。宝塚音楽学校、相愛高校及び相愛大学講師、関西二期会会員。



アルト／橋 知加子

CHIKAKO TACHIBANA

大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。オペラ「カルメン」「ボッペアの戴冠」「ジュリアス・シーザー」「カプレーティとモンテッキ」「コジ・ファン・トゥッテ」「外套」「マリア・ストゥアルダ」「カヴァレリア・ルスティカーナ」など、多数のオペラに出演。セスト役で出演した「皇帝ティートの慈悲」は大阪文化祭奨励賞を受賞。その他、宗教曲や「第九」のソリストとしても活躍。第34回なご芸術祭新人奨励賞受賞。関西芸術振興会・関西歌劇団理事。



テノール／小餅谷 哲男

TETSUO KOMOCHIYA

大阪音楽大学大学院修了。ヴェルディ音楽院、アカデミア・ヴェルディアーナで故ベルゴンツィ氏のもと研鑽。約100のオペラ公演に主演。「沈黙」(文化庁芸術祭大賞)のロドリゴを演じて以降「イドメネオ」「フィデリオ」「ピーター・グライツ」(三菱UFJ信託音楽賞)など演技色の濃い役柄を演じる。第25回イタリア声楽コンクール テノール特賞。プール学院大学准教授、大阪音楽大学講師、関西歌曲研究会理事、関西二期会研修所所長、関西二期会副理事長。



バリトン／松岡 剛宏

YOSHIHIRO MATSUOKA

大阪音楽大学声楽専攻卒業後、関西歌劇団に入団。その後渡米し、C.Aks氏のもとで研鑽を積む。帰国後、「椿姫」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「賢い女」など、数々のオペラに出演。2002年、R・コルサコフ国際声楽コンクールにて「聴衆特別賞」「ベストロマンスシンガー賞」など4つの賞を受賞。2007年チャイコフスキー国際音楽コンクールの声楽部門にて日本人男性唯一の予選通過者となる。関西学院高等部講師を経て、現在、大阪音楽大学演奏員。明日香村在住。



「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会 実行委員  
「飛鳥・音の風景」プロデューサー





「明日香の匠」展 奈良県立万葉文化館 1F 企画展示室  
(奈良県高市郡明日香村飛鳥10)

2020.2.8 [SAT] -16 [SUN]

10:00~17:30 (受付 / 17:00まで) ※但し、10日(月)は休館

明日香村を拠点に活動する作家36名(公募により選考)と特別出品作家3名による作品展を開催。

展示・構成：山中 俊広(インディペンデント・キュレーター)

入場料：無料

入場者数：1,863名



「うつす、うつる、」



素材：ミクストメディア

特別出品作家 / 中尾 美園 NAKAO MIEN [2014年度 飛鳥アートヴィレッジ参加アーティスト]

- 1980 大阪府生まれ
- 2006 京都市立芸術大学大学院 美術研究科保存修復専攻修了  
〈主な展覧会歴〉
- 2008 「京展」京都市美術館[館長奨励賞/09 須田貴・芝田記念賞]
- 2013 個展「いつかの庭」KUNST ARZT(京都)
- 2014 「シェル美術賞展」国立新美術館(東京)[入選]
- 2015 個展「因譜」Gallery PARC(京都)
- 2016 Assemblagebridge NAGOYA「ハソラマ庭園 -動的生態系にみる-」Botão Gallery(愛知)
- 2018 個展「紅白のハギレ」ギャラリー一掃(京都)  
個展「あすの不在に備えて」元崇仁小学校(京都)  
個展「うつす、うつる、」Gallery PARC
- 2019 「Roots Routes Travelers ルーツ・ルート・トラベラーズ」成安造形大学(滋賀)

「出行図 2020 —高松塚古墳からお出かけするのだ—」



素材：ミクストメディア

特別出品作家 / 楠本 衣里佳 KUSUMOTO ERIKA [2016年度 飛鳥アートヴィレッジ参加アーティスト]

- 1988 大阪府生まれ
- 2013 京都精華大学大学院 芸術研究科博士前期課程日本画専攻修了
- 2017 京都精華大学芸術学部 非常勤講師(〜19)  
〈主な展覧会歴〉
- 2013 「瀬戸内国際芸術祭」高見島(香川)
- 2014 「純-日本画新展」美術館「えき」KYOTO(京都)
- 2016 「飛鳥アートヴィレッジ」南都明日香ふれあいセンター犬養万葉記念館(奈良)  
平和堂財団芸術奨励賞受賞
- 2017 「第31回京都芸術祭美術部門国際交流総合展」京都市美術館別館
- 2019 個展「From My Daily Life "BODY AND MEMORY"」芝田町画廊(大阪)  
個展「楠本衣里佳 絵画展」生活あーと空間 ばるあーと(京都)

「隣り合う年月」



素材：岩絵具、水干絵具、顔料、顔紙、麻紙、木製枠

特別出品作家 / 藤野 裕美子 FUJINO YUMIKO [2017年度 飛鳥アートヴィレッジ参加アーティスト]

- 1988 滋賀県生まれ
- 2013 京都精華大学大学院 芸術研究科博士前期課程日本画専攻修了  
〈主な展覧会歴〉
- 2010 「第28回上野の森美術館大賞展」(東京)[10~12 入選]
- 2012 アーティスト・イン・レジデンス「Petites Cités de Caractère Cités d'Art de Bretagne」(ブルターニュ/フランス)
- 2013 平成24年度平和堂財団新進芸術家助成 芸術奨励賞  
「瀬戸内国際芸術祭」高見島(香川/19)  
個展「肩の情」中之島デザインミュージアム de sign de >(大阪)
- 2015 「日本画の楽しみ-新しい表現への挑戦-」香美市立美術館(高知)  
「Itinérances Rétrospective «l'Art dans les Cités»」Le centre d'art Les 3 CHA(シャトールロン/フランス)  
個展「背面の景色」尾賞商店 倉庫(滋賀)
- 2017 「飛鳥アートヴィレッジ」南都明日香ふれあいセンター犬養万葉記念館(奈良)

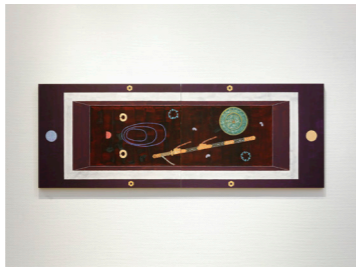




日本画/鳥頭尾 精 (うとおせい)  
「森の景Ⅰ」「森の景Ⅱ」



日本画/鳥頭尾 忠子 (うとおただこ)  
「椿花」「花の跡」



日本画/東 紀子 (ひがしのりこ)  
「刻の足跡」



洋画/生駒 三恵 (いこまみえ)  
「火の鳥」



陶芸/竹田 阿野胡 (たけだあやこ)  
「あすか夕景」



陶芸/谷口 美佐子 (たにぐちみさこ)  
「雛人形 みやび」「長靴をはいたネコ」



陶芸/脇田 宗孝 (わきたむねたか)  
「金影シクロード唐草文扁壺」「金影サマルカンド唐草文扁壺」



ガラス造形/小田 珠生 (おだたまお)  
「あすか雪げしき・盃」「あすか雪げしき・片口」



洋画/勝川 喜昭 (かつかわきしょう)  
「風景」



洋画/勝川 京子 (かつかわきょうこ)  
「風景」



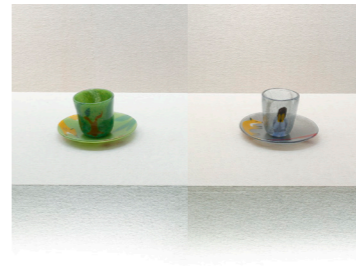
洋画/川本 恵 (かわもとめぐみ)  
「明日香路」



洋画/橘 忍 (たちばなしのぶ)  
「采女」「甘橙丘」



ガラス造形/高橋 直樹 (たかはしなをき)  
「草花紋の器」「ランプ (里山の森)」



ガラス造形/安田 麻里 (やすだまり)  
「ごんぎつね その三」「ごんぎつね その四」



面彫/島田 清 (しまだきよし)  
能面 小癒見・能面 乙



ギター製作/折坂 諭 (おりさかさとし)  
飛鳥八稜竖琴



木版画/上田 孝文 (うえだたかふみ)  
「収穫」「明日香のどんど」



詩書画/渡会 美枝子 (わたらいみえこ)  
「目覚め」「神丹徳と古代麦」



陶芸/木野村 由比子 (きのむらゆいこ)  
「和紙染花鳥文扁壺」



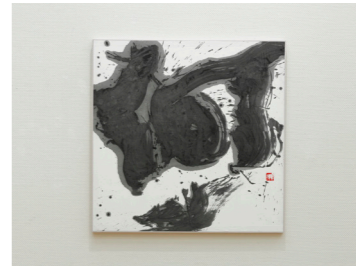
陶芸/鈴木 乃り子 (すずきのりこ)  
「緑釉四方組皿」



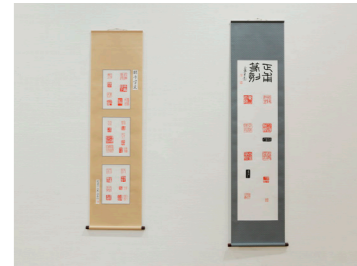
彫刻/岡橋 久代 (おかはしひさよ)  
「美しあすか(縄文)」



彫刻/熊田 悠夢 (くまだゆうむ)  
「歌え」



書芸/稲垣 小燕 (いながきしょうえん)  
「何」



書芸/境山 正甫 (きょうやままさもと)  
「千字文抄」「正甫篆刻」





書芸／中井 功子 (なかいのりこ)  
「孫」 「柳宗元詩」



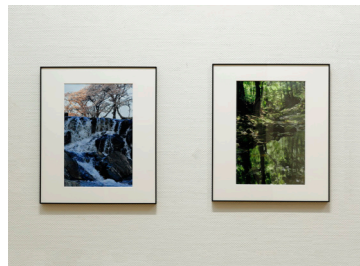
書芸／鈴木 絶光 (すずきはこう)  
「雪」



紙画／中川 愛子 (なかがわあいこ)  
「落椿」 「白梅」



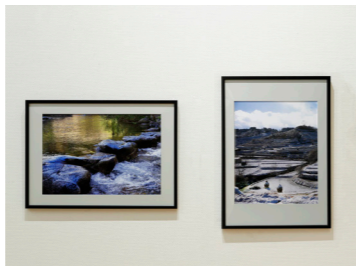
切り絵／森脇 新一郎 (もりわきしんいちろう)  
「飛鳥Ⅰ」 「飛鳥Ⅱ」



写真／上田 由美子 (うえだゆみこ)  
「はずむ」 「静寂」



写真／上山 好庸 (うえやまよしのぶ)  
「残照」 「静寂」



写真／梅田 耕吉 (うめだこうきち)  
「むかしも今も」 「静かなる佇」



写真／岡本 路子 (おかもとみちこ)  
「雪の褶 (ひだ)」 「雪の朝 (あした)」



写真／島田 真希 (しまだまき)  
「うしくに」



写真／白水 泉 (しろうずいずみ)  
「菩薩の眼差し」 「春霞に煙る」



写真／森本 富雄 (もりもととみお)  
「祝日」 「令和の朝」



写真／柳 敏明 (やなぎとしあき)  
「大動脈」 「異空間」

